

経営理念

社是



企業理念

**お客様本位の精神で安全・確実な業務の遂行により
顧客の信頼を高め、人々の生活や経済を支える
社会的に重要なインフラの創造をととして社会に貢献する**

綱領

吾等は常に愛社の精神に徹し、社運の興隆をはかろう
吾等は常に相互の親和に努め、職場の明朗をはかろう
吾等は常に身心の鍛練に努め、職責の完遂をはかろう
吾等は常に技能の練磨に努め、業務の改善をはかろう
吾等は常に誠実奉仕に努め、信用の増大をはかろう

編集方針

本報告書は、株主・投資家の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様に、当期の実績等の財務情報に加えて、当社の中長期的な企業価値向上に向けた取り組み等の非財務情報について開示することで、当社グループを一層ご理解いただき、さらなる対話のきっかけとなることを目指して発行しています。

対象組織

日本電設工業株式会社およびグループ全体の事業活動を対象としています。
日本電設工業株式会社のみについては「日本電設工業」ないし「当社」、グループ全体については「NDKグループ」ないし「当社グループ」と表記しています。なお財務情報は連結数値、非財務情報は単体数値を基本としています。

対象期間

2023年4月1日～2024年3月31日 一部対象期間外の活動報告を含みます。

見通しに関する記述

本報告書には、当社の事業に関する将来の見通しが含まれています。これらは現時点で入手可能な情報から予測したものであり、今後の様々な要因により実際の業績等とは異なる可能性があります。

参照ガイドライン

国際統合報告評議会(IIRC)「国際統合フレームワーク」

ツールマップ

財務情報	非財務情報
統合報告書2024	
決算短信	サステナビリティサイト (https://www.densetsuko.co.jp/01sustainability/)
有価証券報告書	
決算報告書	コーポレート ガバナンス報告書
決算説明会資料	
Webサイト(https://www.densetsuko.co.jp/)	

NDKグループについて

経営理念	1
価値創造の歴史	3
NDKグループの概要	5
財務・非財務ハイライト	7
価値創造プロセス	9

成長戦略

トップメッセージ	11
経営計画	17
事業戦略	
鉄道電気工事	23
一般電気工事	25
情報通信工事	27
環境エネルギー工事	29
関連事業等	31
技術開発	33
グループ会社紹介	35

サステナビリティ戦略

NDKグループのサステナビリティ	37
マテリアリティと主な取り組み	39
環境	
TCFD提言に基づく情報開示	41
① 脱炭素社会への貢献	45
② 資源循環の推進	46
社会	
③ 安全品質維持向上の追求	47
④ 快適な社会インフラの維持	50
⑤ 人材の確保と育成	51
⑥ 人権と多様性の尊重	53
⑦ 健康で快活な職場づくり	54
⑧ 新たな価値の創造	56
ガバナンス	
役員一覧	57
⑨ コーポレートガバナンスの強化	59
⑩ リスク管理の強化	63
社外取締役メッセージ	65

データセクション

11ヶ年サマリー	69
連結財務諸表	71
会社情報・株式情報	75



価値創造の歴史



1942年～ 1960年～

国鉄の鉄道電気設備工事専門会社として設立



国鉄小千谷発電所 国鉄大宮～宇都宮間電化

当社は、1942年に戦時体制下における鉄道輸送力増強、維持のため国鉄の鉄道電気設備工事を専門とする「鉄道電気工業株式会社」として設立され、終戦後は、荒廃した設備の復興と鉄道電化に全力で取り組みました。その後、当時全国に展開する組織を持つ唯一の電気工事会社として都市や工場施設の復興や新設・増設にも従事することとなり、1949年に社名を現在の「日本電設工業株式会社」に改めました。

高度経済成長と一般電気工事の躍進



帝国ホテル 東海道新幹線(東京～新大阪)

高度経済成長期に入りビルや建物のインフラ整備が拡大したことを背景に、1962年からの5年間は一般電気工事の受注工事高が2.2倍になるなど大きく躍進しました。1964年に営業品目に空調冷暖房工事と給排水衛生工事の設計・施工が加えられたことも業績貢献に寄与しています。また、1964年に東海道新幹線(東京～新大阪)が開業したほか、国鉄の輸送力強化や輸送方式の近代化に伴う鉄道電気工事も盛んに行われていました。

戦後の日本の発展とともに鉄道をはじめとした社会のインフラ構築に大きく貢献してまいりました。これからも持続可能な社会の実現に向けて社会のインフラを支えてまいります。

1980年～ 2010年～

国鉄民営化、バブル崩壊からの立ち上がり



山形新幹線 京都駅ビル

国鉄民営化、バブル経済、その後のバブル経済崩壊と激変の時代でした。当社もその波に押され、バブル経済崩壊後の業績は大きく後退しました。これを打開すべく2003年に「日本電設3ヶ年経営計画2003」を策定、これまでの「仕事のやり方」「仕組み」を打破して利益を生み出せる体質へと変化していきます。「日本電設3ヶ年経営計画」という名称や、経営目標・重点実施テーマを明示する形式は、この3ヶ年経営計画2003に始まり、2006、2009、そして現在へと継承されています。

持続可能な社会の実現を目指して



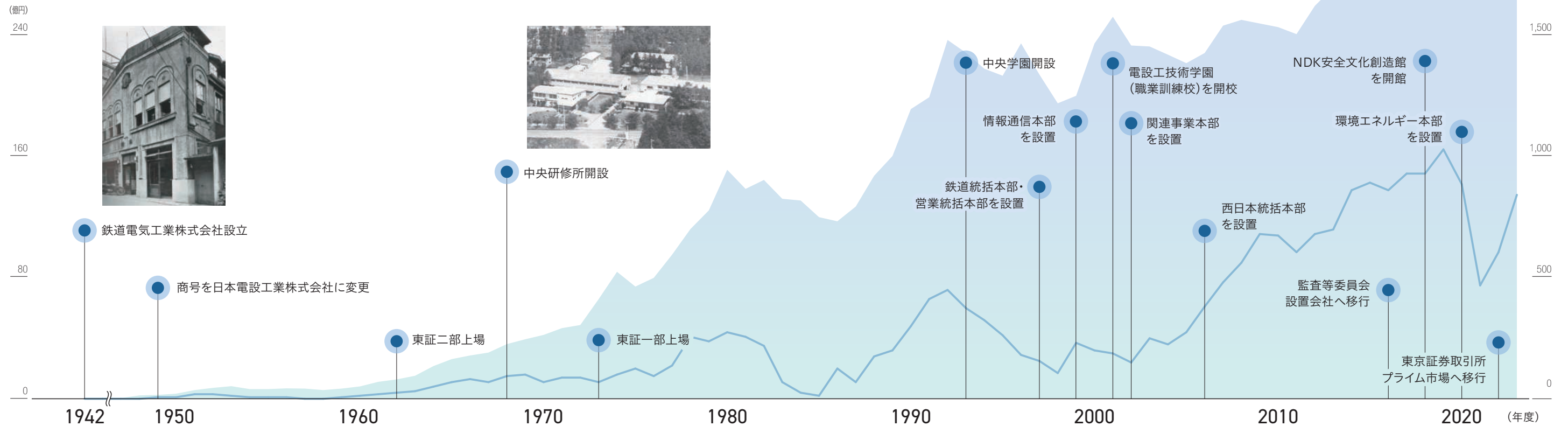
常磐線 新地駅(震災復旧) 大崎三本木太陽光発電所

社会のインフラを支える設備工事会社として、自然災害に備えた国土強靱化政策への積極的な参画や災害発生時には迅速な復旧工事を行っています。また、気候変動対策の国際的な合意であるパリ協定やSDGsにより世界では環境保護の気運が高まり、脱炭素化の実現に向けた取り組みが強化されるなか、再生可能エネルギー利用促進等のカーボンニュートラルに向けた各種設備工事において、環境に配慮した高い技術力で持続可能な社会の実現に貢献しています。

売上高、営業利益の推移




■ 売上高(右軸) ■ 営業利益(左軸)

※ 1999年度までは単体の実績を示しています。



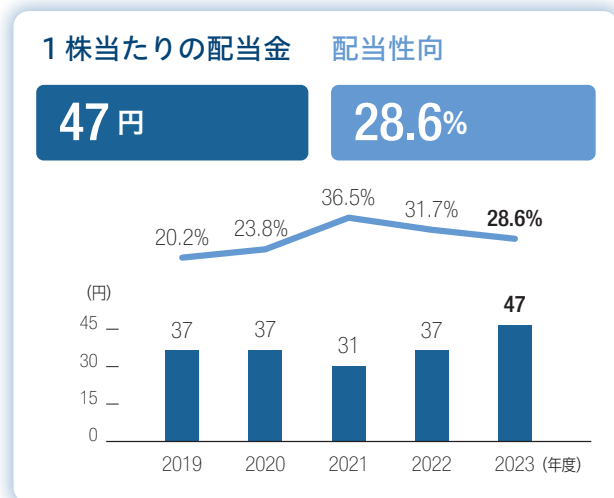
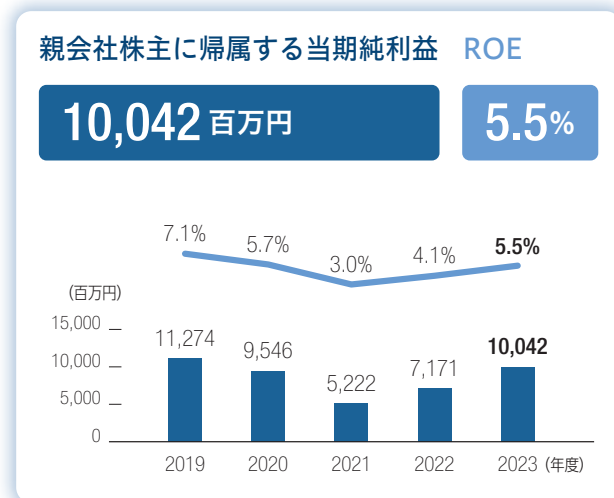
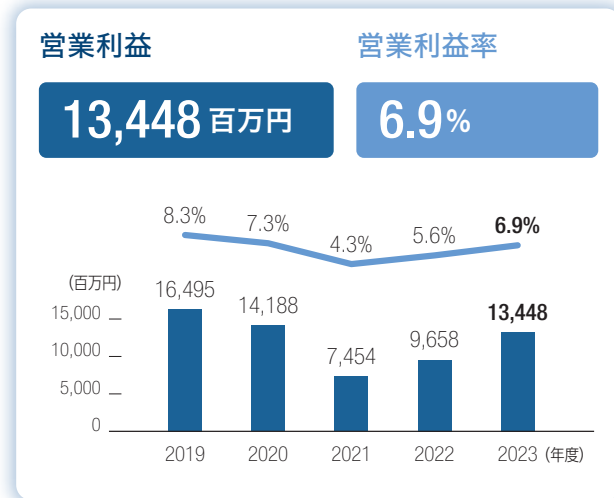
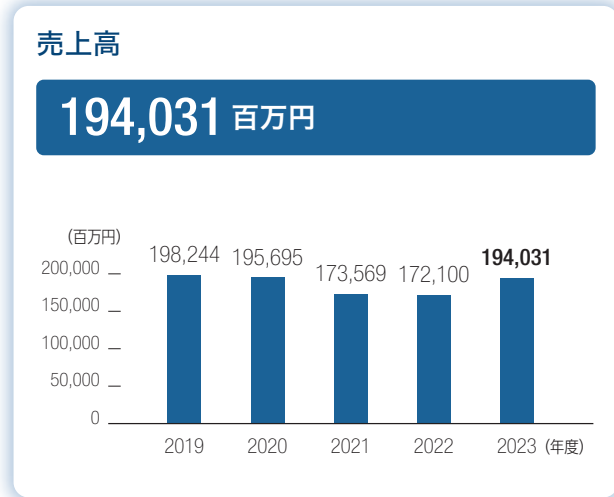
NDKグループの概要

(2024年3月31日現在)

<p>創業</p> <p>1942年</p> 	<p>連結売上高 (2024年3月期)</p> <p>1,940億円</p> <p>12.7%  前期比 UP</p>	<p>連結営業利益 (2024年3月期)</p> <p>134億円</p> <p>39.2%  前期比 UP</p>
<p>時価総額 ※2024年3月29日終値</p> <p>1,257億円</p> 	<p>グループ会社</p> <p>全 21社</p> 	<p>連結従業員数</p> <p>4,744名</p> 
<p>鉄道電気工事部門 リーディング カンパニー</p> <p>鉄道電気工事 施工実績</p> <p>No.1</p> 	<p>5つの事業で 全国展開</p> 	<p>JR東日本 パートナー 会社</p> 

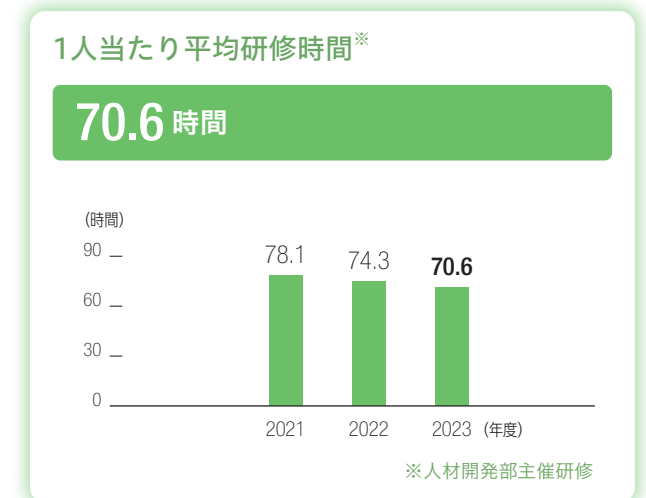
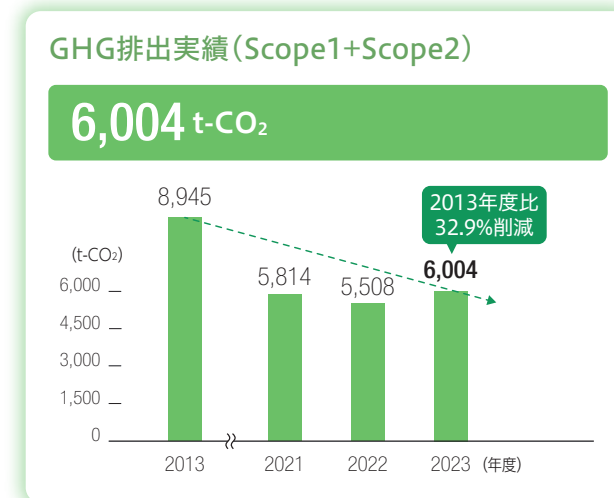
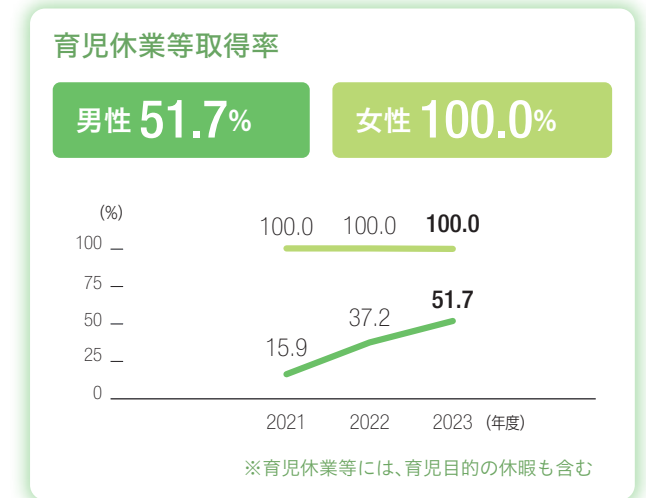
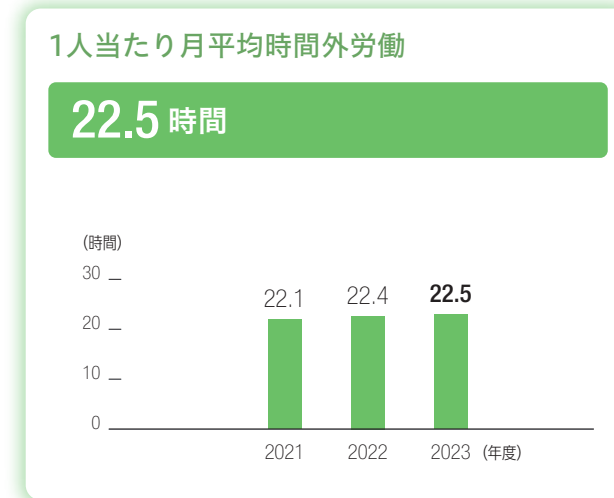
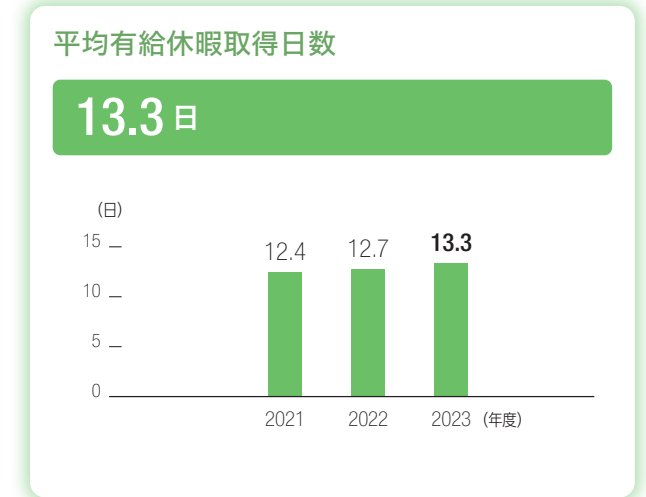
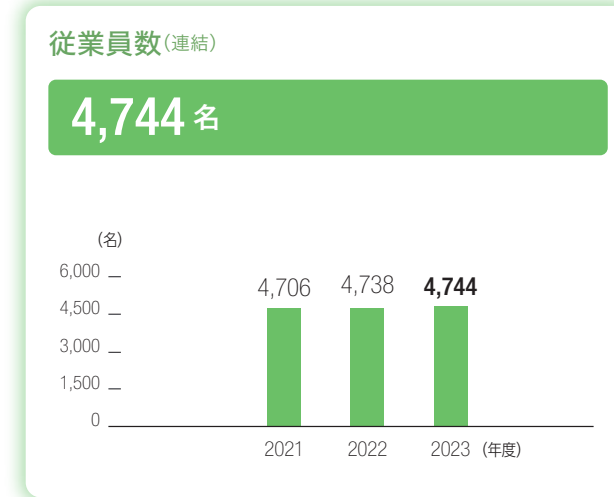
<p>鉄道電気工事 P.23</p> <p>売上高/構成比</p> <p>109,165百万円 56.2%</p> <p>新幹線、地下鉄、モノレール、新交通システムなどあらゆる鉄道の電気設備(電車線、発変電、送電線、電灯電力、信号)における工事・保守・改修等を行っています。</p>	 <p>北陸新幹線(長野～金沢)</p> <p>連結子会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本電設電車線工事株式会社 ・日本電設信号工事株式会社 ・東日本電気エンジニアリング株式会社
<p>一般電気工事 P.25</p> <p>売上高/構成比</p> <p>47,937百万円 24.7%</p> <p>官公庁から学校、病院、ホテル、駅ビル、工場、空港、大型テーマパークまで、様々な建物において新築や改修などの電気設備工事を行っています。</p>	 <p>SAGAサンライズパーク「SAGAアリーナ」</p> <p>連結子会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NDK電設株式会社 ・NDK西日本電設株式会社 ・株式会社東電 ・トキワ電気工業株式会社
<p>情報通信工事 P.27</p> <p>売上高/構成比</p> <p>27,319百万円 14.1%</p> <p>鉄道運行や旅客サービスに関わる通信工事のほか、携帯電話基地局の設置工事やIPネットワーク関連工事等、進化を続ける情報通信分野での最適なソリューションを提供しています。</p>	 <p>JR東日本 上野駅</p> <p>連結子会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本電設通信工事株式会社
<p>環境エネルギー工事 P.29</p> <p>売上高/構成比</p> <p>5,006百万円 2.6%</p> <p>省エネルギー対策工事や再生可能エネルギー工事のほか、駅ビルやオフィスビル等、様々な建物の空気調和設備や給排水衛生設備工事を行っています。</p>	 <p>三保ソーラーパワー</p> <p>連結子会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社石田工業所
<p>関連事業等 P.31</p> <p>売上高/構成比</p> <p>4,602百万円 2.4%</p> <p>不動産の有効活用として賃貸ビル・マンション事業をはじめ、ビル総合保守管理業、太陽光発電事業、ソフトウェア開発等の情報サービス業等を行っています。</p>	 <p>ロータス西千葉</p> <p>連結子会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NDK総合サービス株式会社 ・NDKイツ株式会社 ・NDK設備設計株式会社 ・NDKオールアンドイー株式会社

財務ハイライト



上記は、全て連結数値となります。

非財務ハイライト



従業員数のみ連結数値となります。

価値創造プロセス

外部環境



経営資本 (2023年度)

財務資本	
総資産(連結)	2,825億円
自己資本(連結)	1,857億円
製造資本	
主要国内拠点数	36拠点
グループ会社数	21社
保有軌陸車数	172台
<small>※軌陸車は線路および一般道路を走行できる工事用車両</small>	
知的資本	
研究開発費(連結)	297百万円
人的資本	
従業員数(連結)	4,744名
施工管理技士(1級各種)	1,569名
中央学園	
社会・関係資本	
協会の参加社数	523社
JR東日本パートナー会社	
自然資本	
電気使用量	7,407MWh
車両燃料使用量	1,178 kℓ



- 安全・品質の追求
- 高い技術力
- 鉄道電気工事のリーディングカンパニー

- 日本電設3ヶ年経営計画 飛躍への挑戦 **P.20**
- マテリアリティ **P.39**
- 経営理念 **P.01**

資本増大

NDK Vision90

2031年度(第90期)ありたい姿
「総合インフラ設備工事会社」へ

P.17

企業価値向上

事業活動の成果 (2023年度)

受注高	2,080億円
売上高	1,940億円
営業利益/営業利益率	134億円/6.9%

(連結)

主な実績

北陸新幹線(金沢~敦賀間) 2024年3月竣工

鹿児島第3 地方合同庁舎 2023年8月竣工

負のOUTPUT

GHG排出量 (Scope1+2)	6,004t-CO ₂
産業廃棄物排出量	26,953t

社会的価値

- 安心、安全で 快適な社会インフラの構築
- 持続可能な社会への貢献
- 脱炭素社会への貢献
- 従業員満足度の向上
- 地域社会との共生

経済的価値

日本電設3ヶ年経営計画2024
2027年3月期目標

営業利益	153億円
ROE	8%
配当総額 (予定)	100億円 (2024年度~2026年度累計)